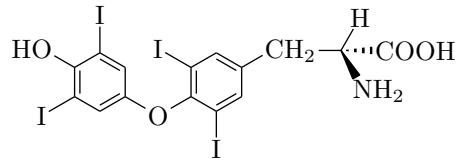
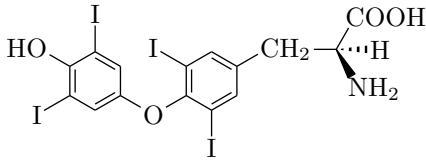


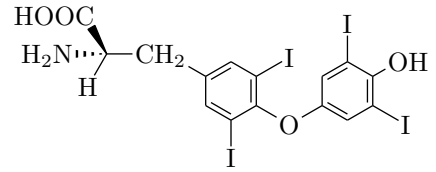
(3)



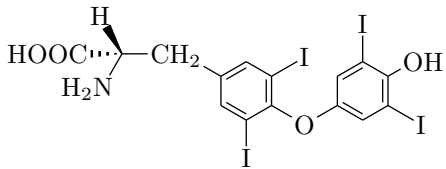
(4)



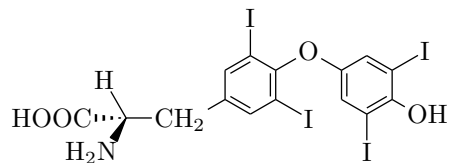
(5)



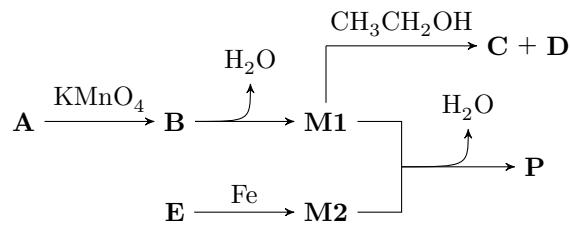
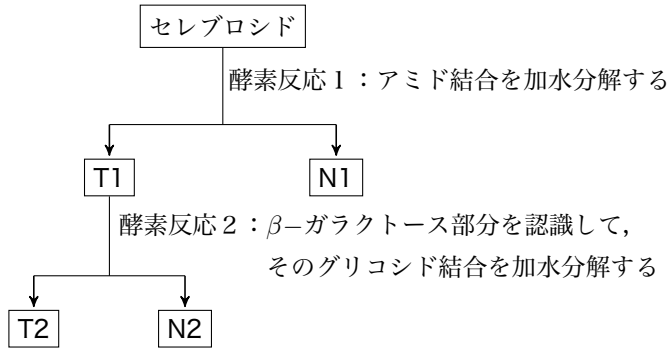
(6)

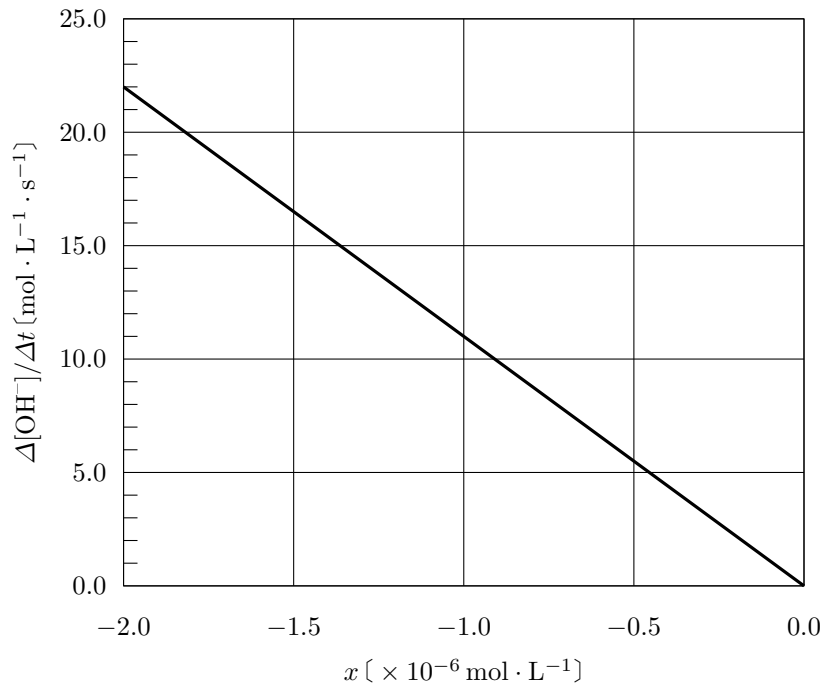
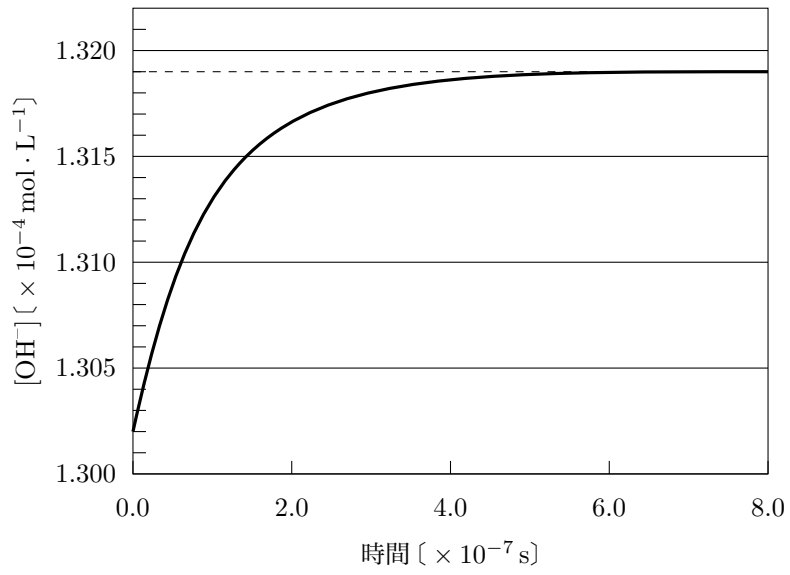


(7)



(8)





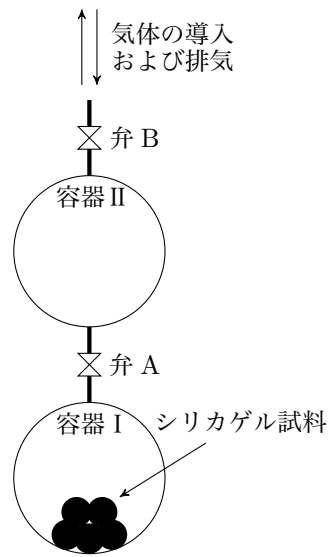
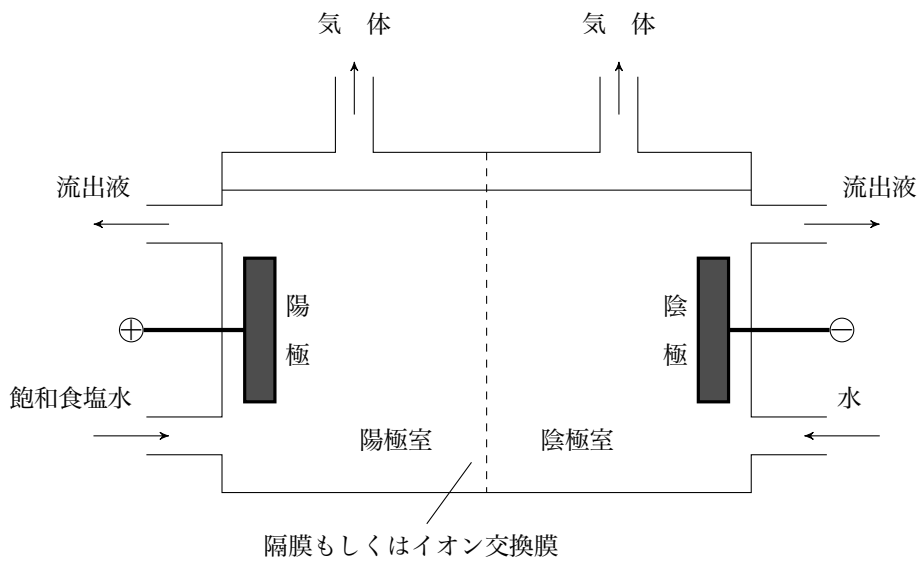
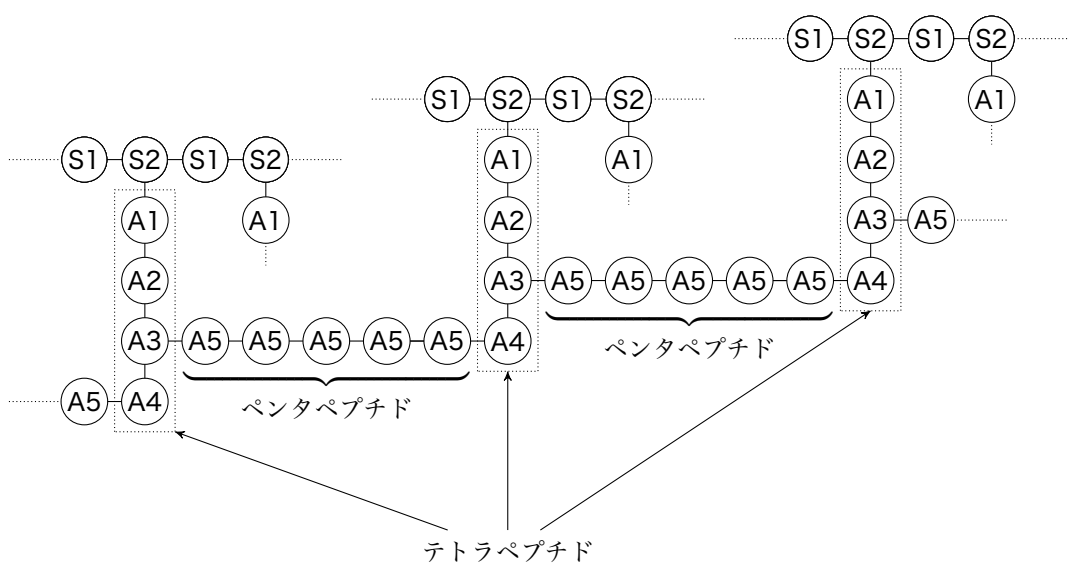
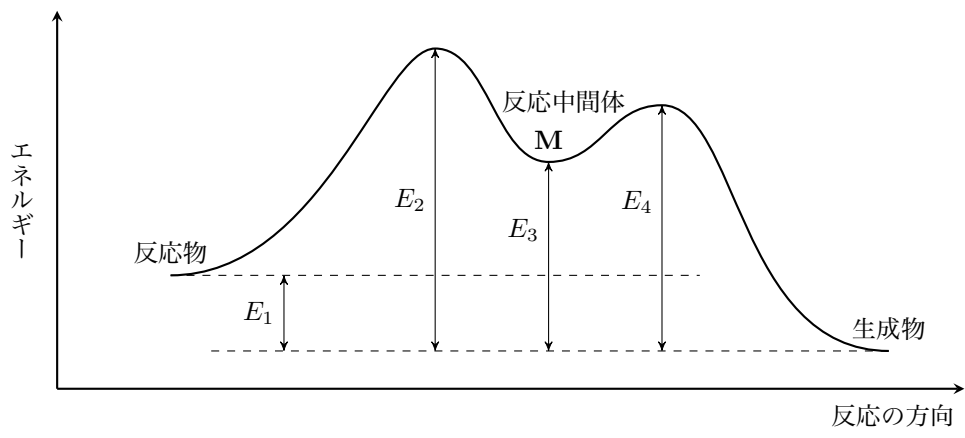
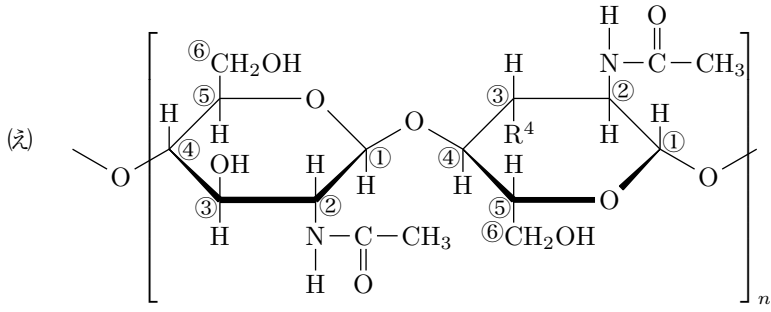
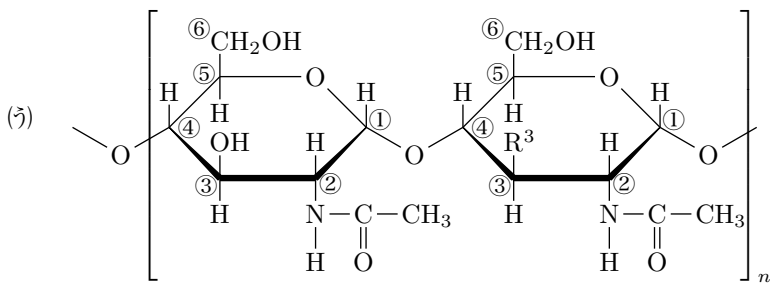
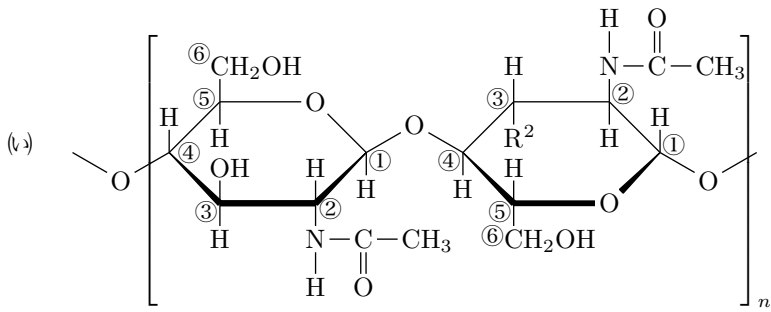
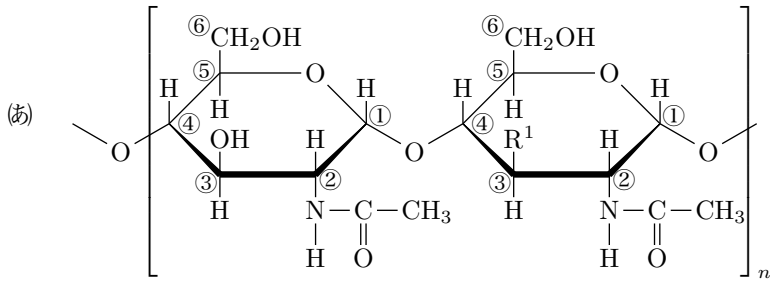


図2 実験装置





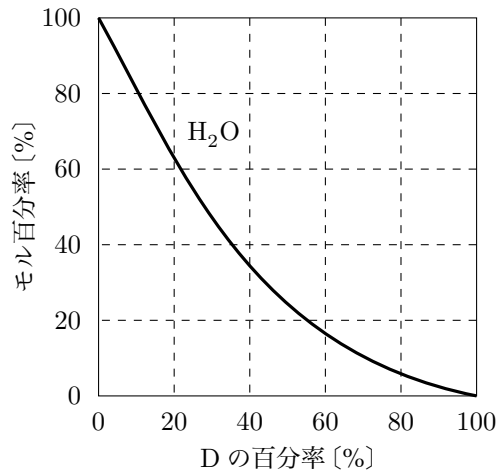
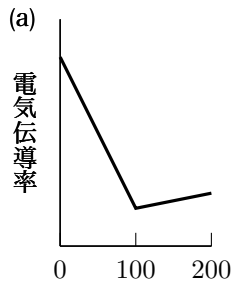
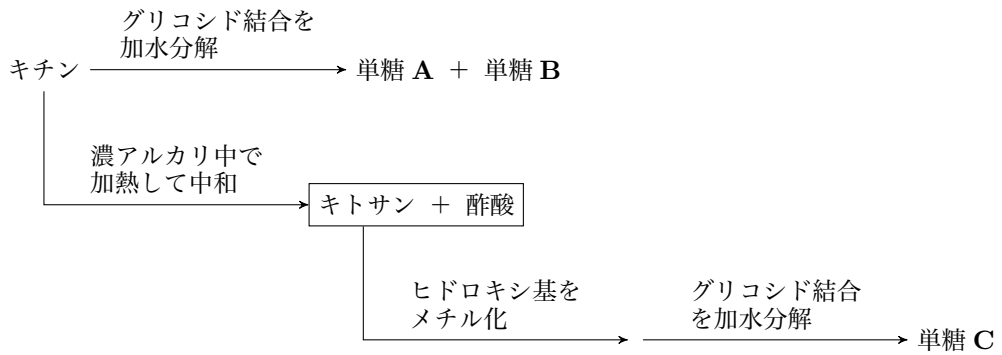
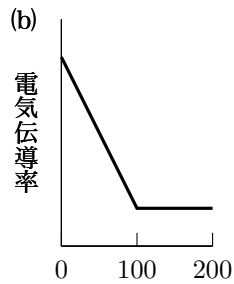


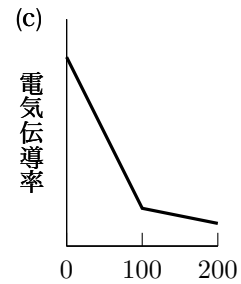
図 1



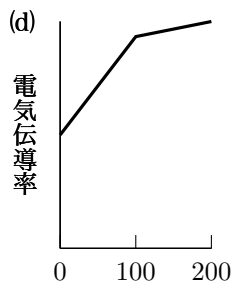
加えた酢酸水溶液の量 [mL]



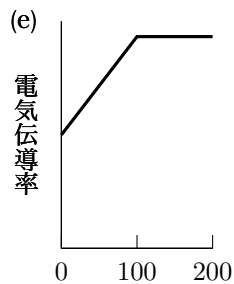
加えた酢酸水溶液の量 [mL]



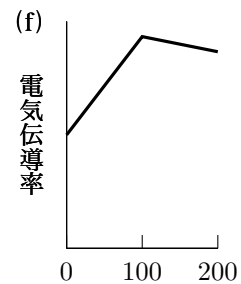
加えた酢酸水溶液の量 [mL]



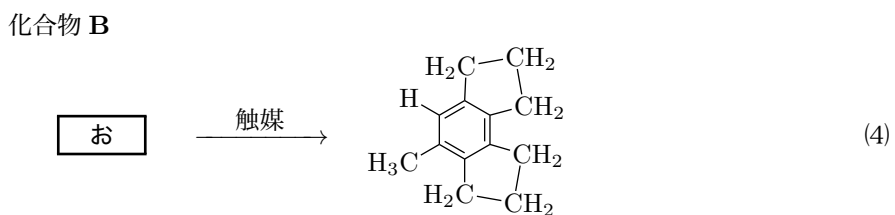
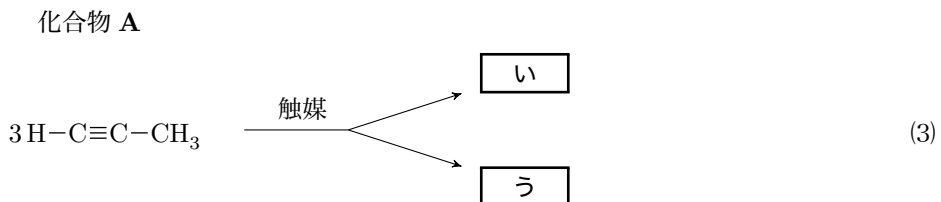
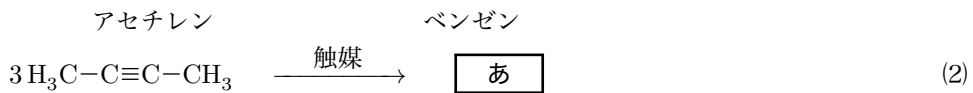
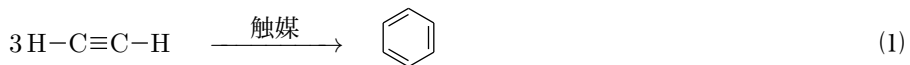
加えた酢酸水溶液の量 [mL]



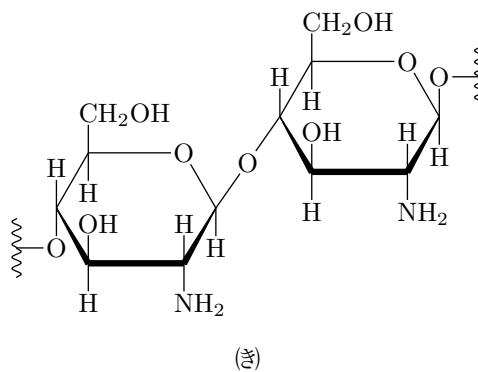
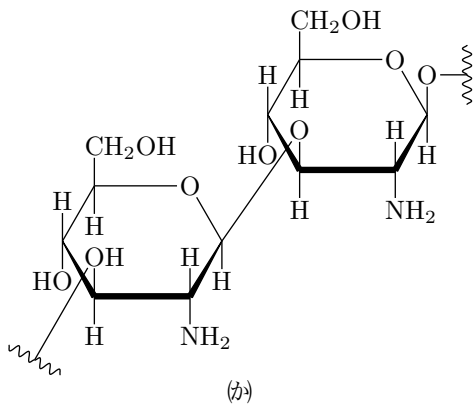
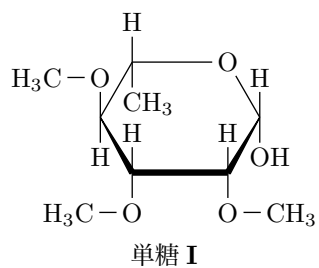
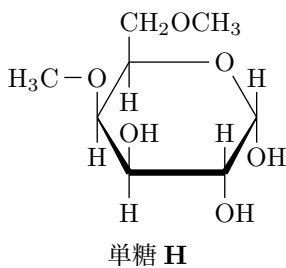
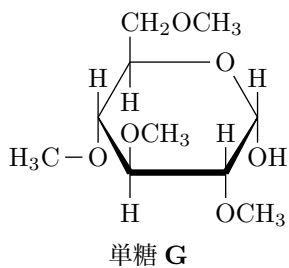
加えた酢酸水溶液の量 [mL]

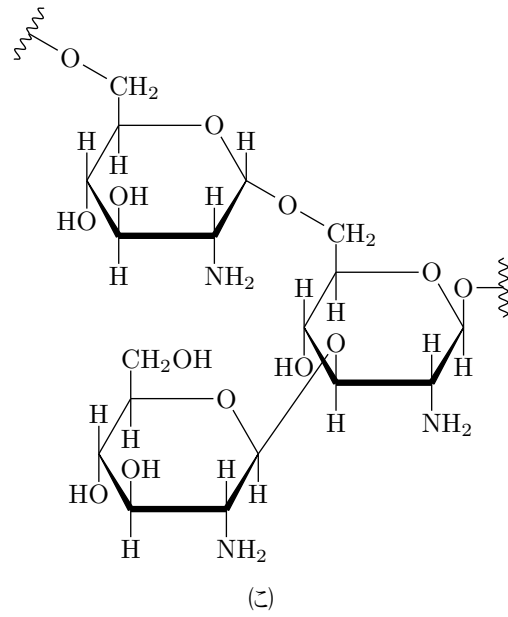
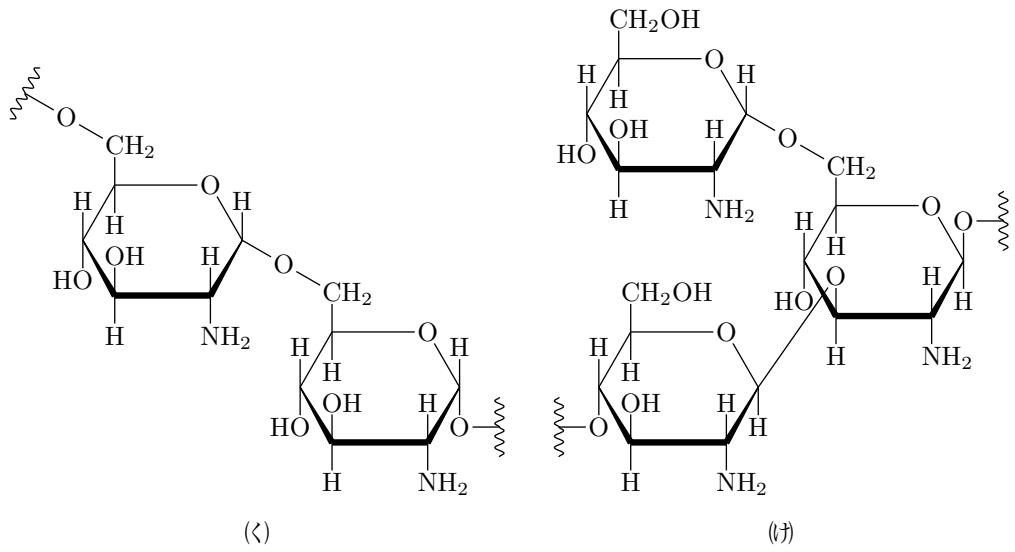


加えた酢酸水溶液の量 [mL]



化合物 C





医学部志望？

YES

2次対策に余裕ある？

YES

7:3でセンター重視で良いと思います。2次対策に余裕があるなら後期の出願も攻めたいのでセンターで830~850点とかを狙いたいよね。化学については演習を受けながら、気になった分野の補強をしらみつぶ的にやってみれば良いでしょう。

NO

ここが一番難しいけど、6:4~7:3位の比率でセンター優先かなあ。センターで事実上の足切り食らうと2次対策が意味なさないから。化学については前期の発展例題と受験科テスト中心ですね。

NO

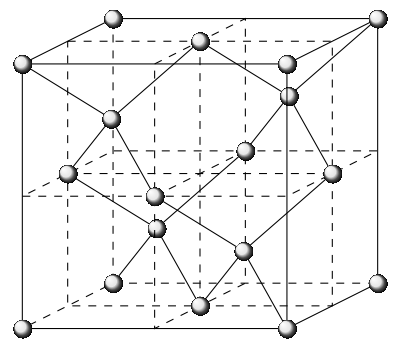
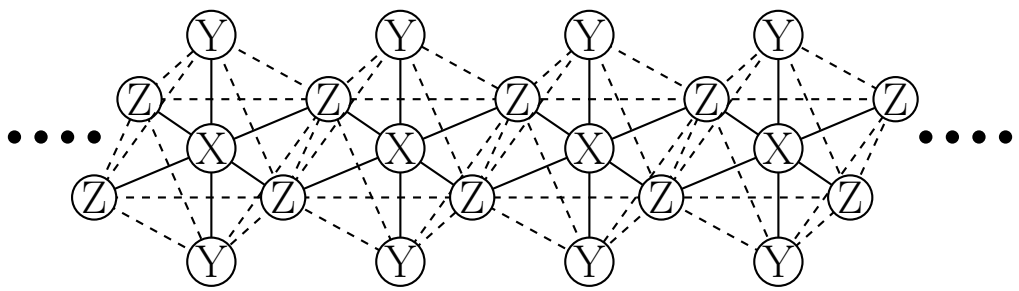
2次対策に余裕ある？

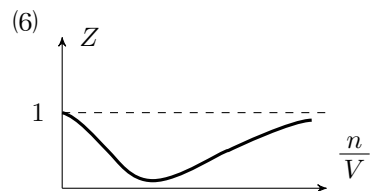
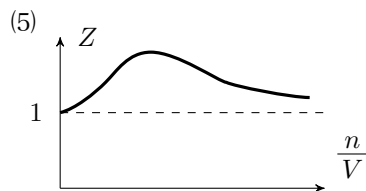
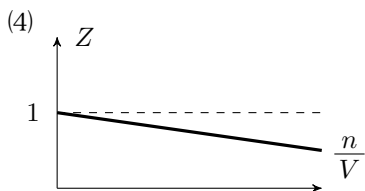
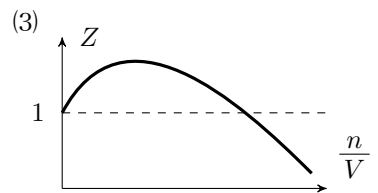
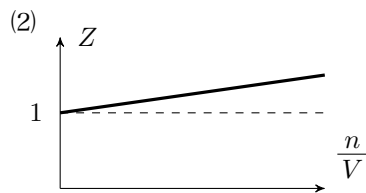
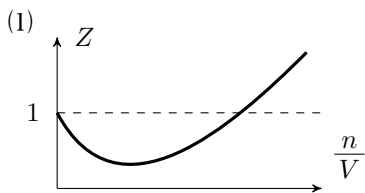
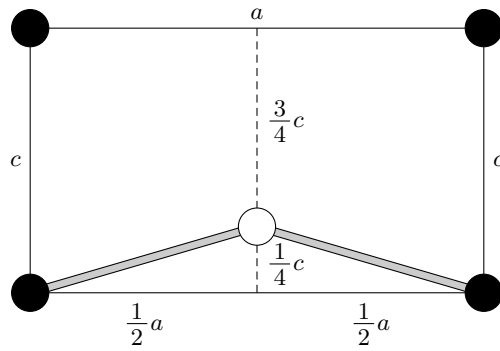
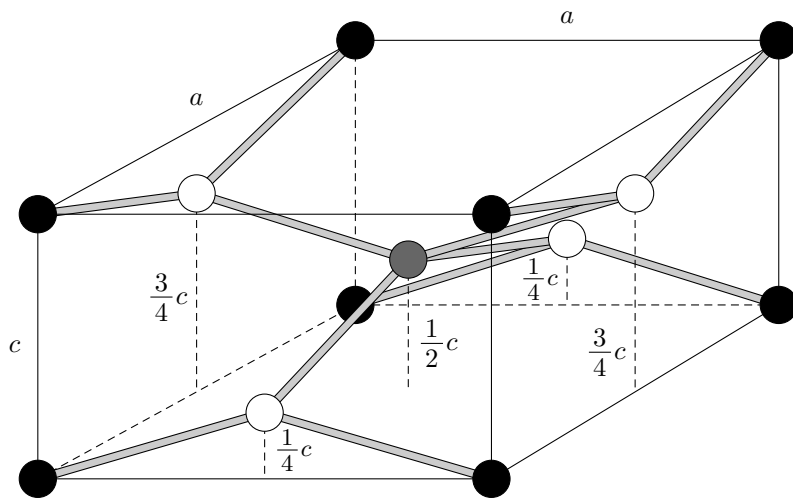
YES

1:1くらいの重みで良いんじゃないでしょうか。センターは社会・国語を優先的に、化学については実力演習や問題集をバンバンやると良いと思います。

NO

6:4くらいで2次を優先かな。センターの方は足を切られない程度に社会と国語はちゃんとやっておく感じ。化学については発展例題・受験科テスト、それと無機や有機の知識固めかな。





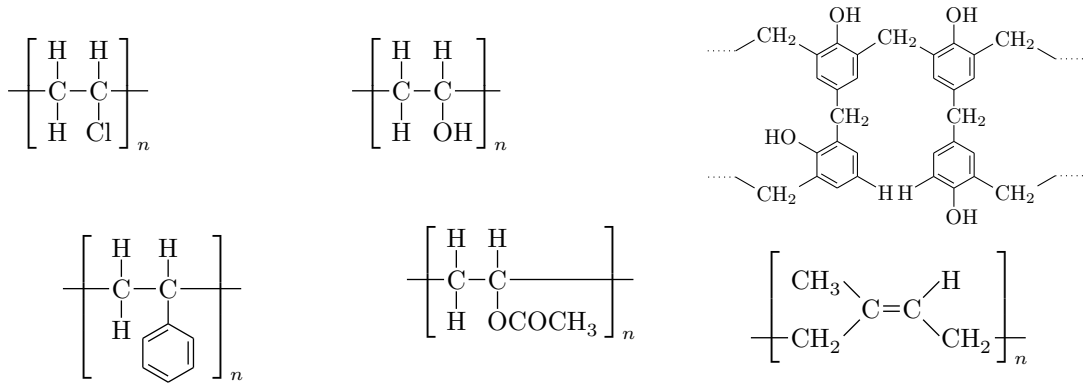


図3-1 様々な合成ポリマーの例

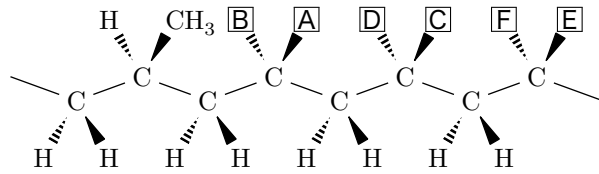


図3-2 アイソタクチックポリプロピレン

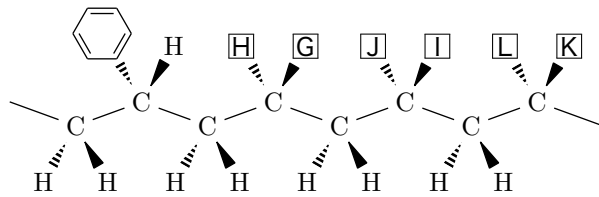


図3-3 シンジオタクチックポリスチレン

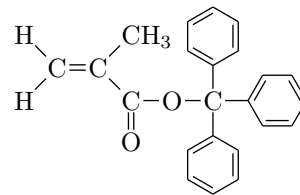


図3-4 メタクリル酸トリフェニルメチル

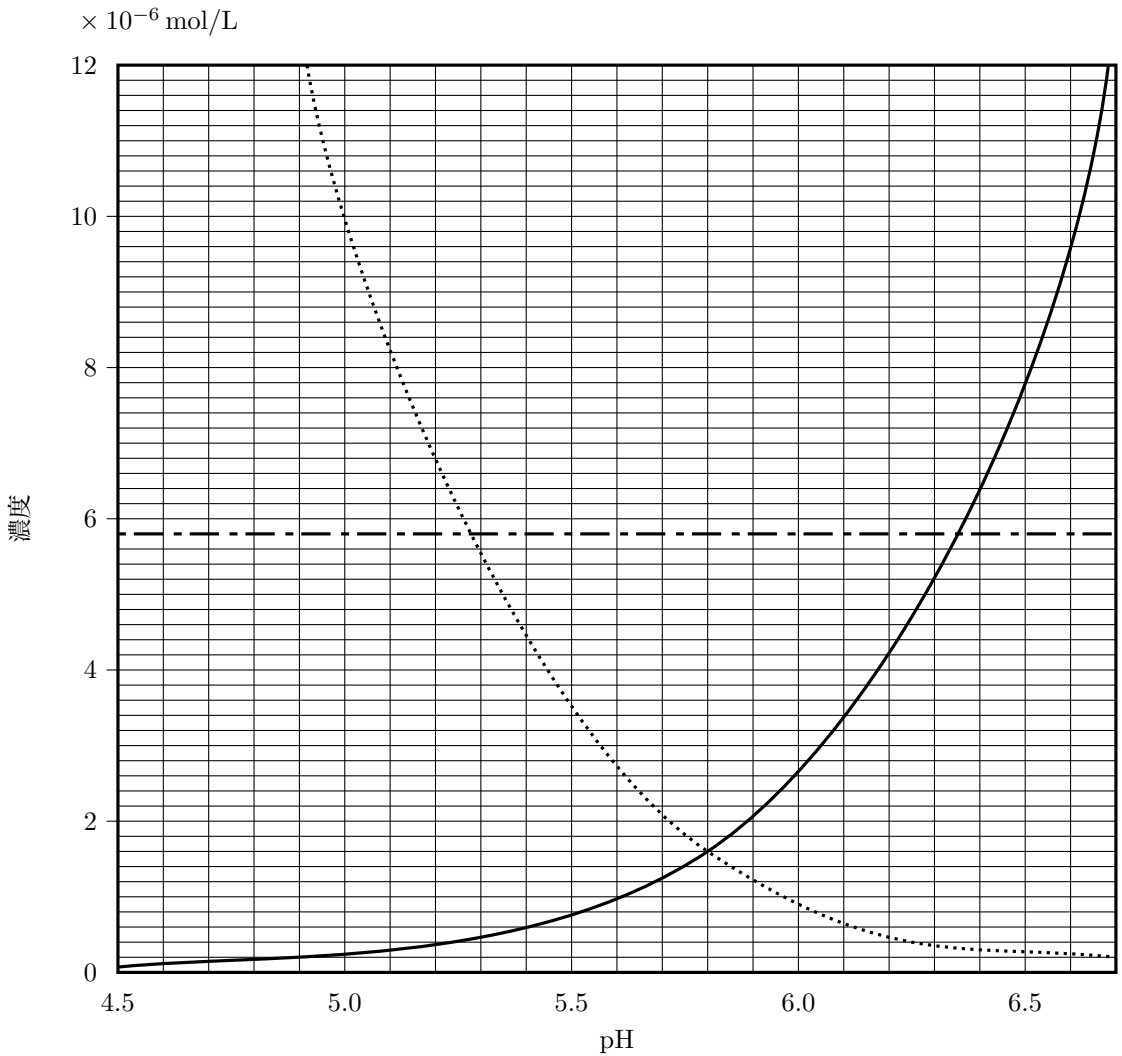


図1 雨水の pH と雨水中の炭酸の電離 (25°C)
 現在の大気中の CO_2 の分圧として $3.6 \times 10 \text{ Pa}$ を採用してある。
 横軸には pH, 縦軸には濃度 ($\times 10^{-6} \text{ mol/L}$) が目盛っており, 一点鎖線
 (---) は $[\text{H}_2\text{CO}_3]$, 実線 (—) は $[\text{HCO}_3^-]$, 破線
 (.....) は $[\text{H}^+] - [\text{OH}^-]$ を表している。 $[\text{CO}_3^{2-}]$ の値は非常に小さい
 ため, この図では横軸と重なってしまっている。

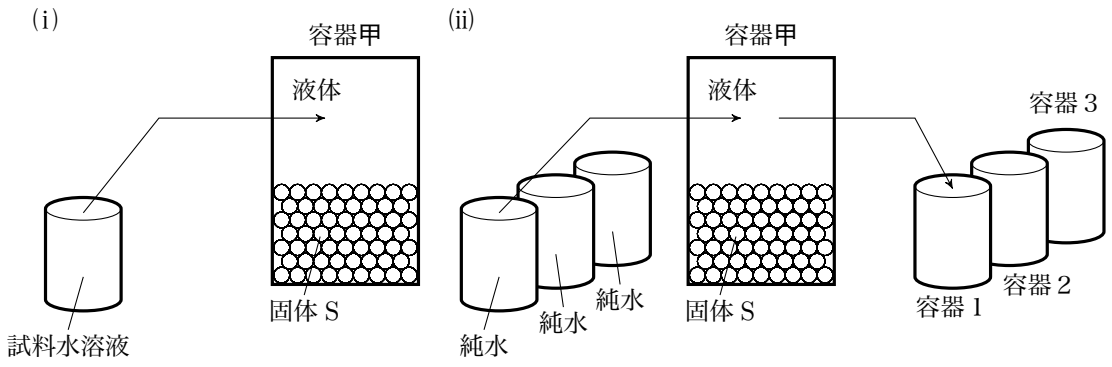


图 1

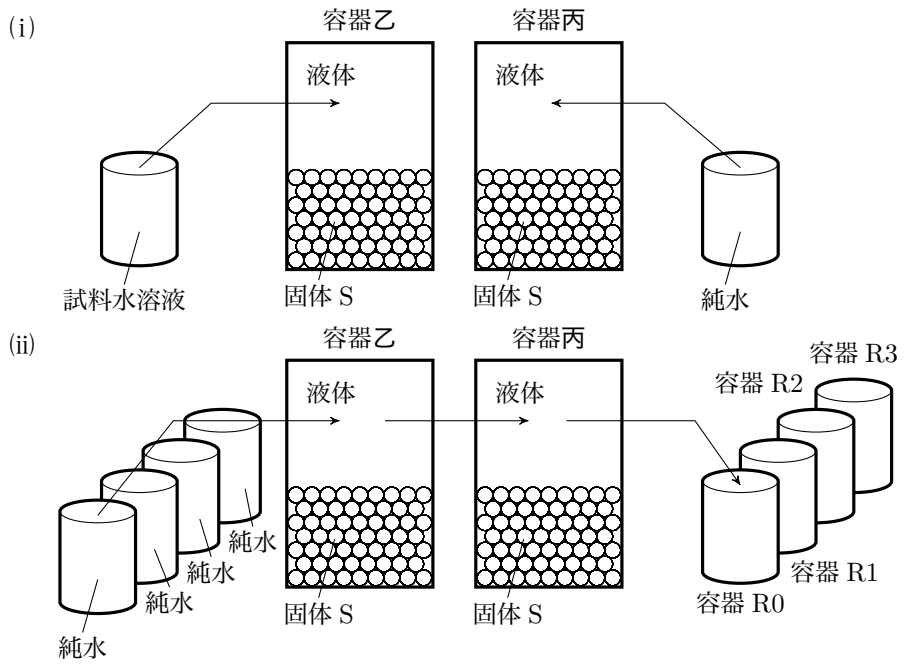


图 2

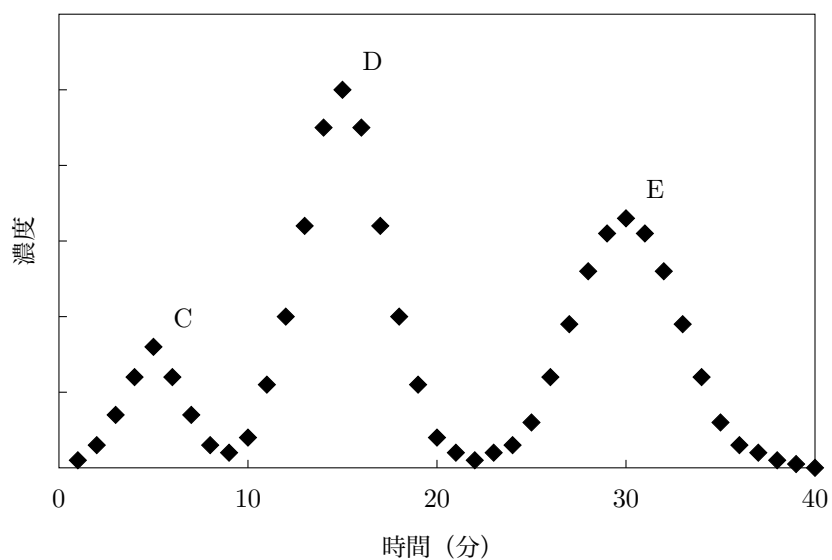


図 3

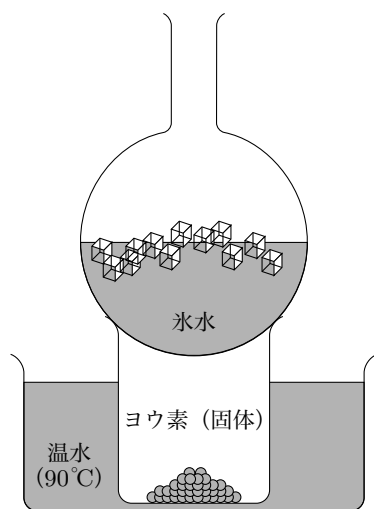
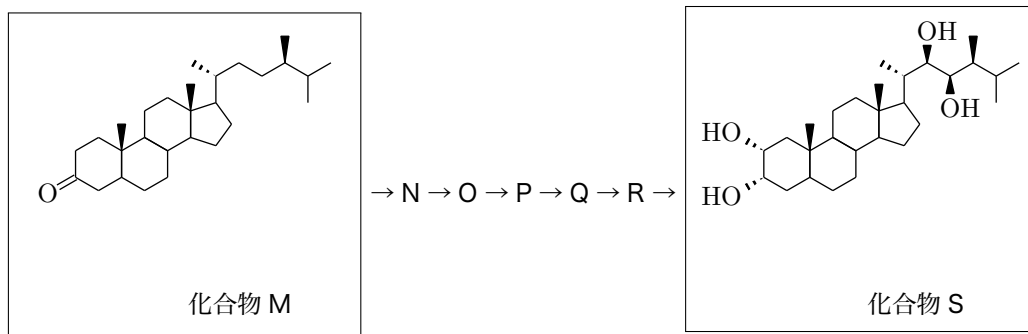
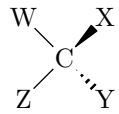
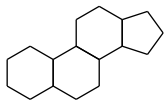


図 2-1 ビーカーを温水 (90°C) につけた直後の様子





W, C, Z が紙面上にある時, X は紙面の手前に,
Y は紙面の向こう側にある。

ステロイド骨格

図3-1

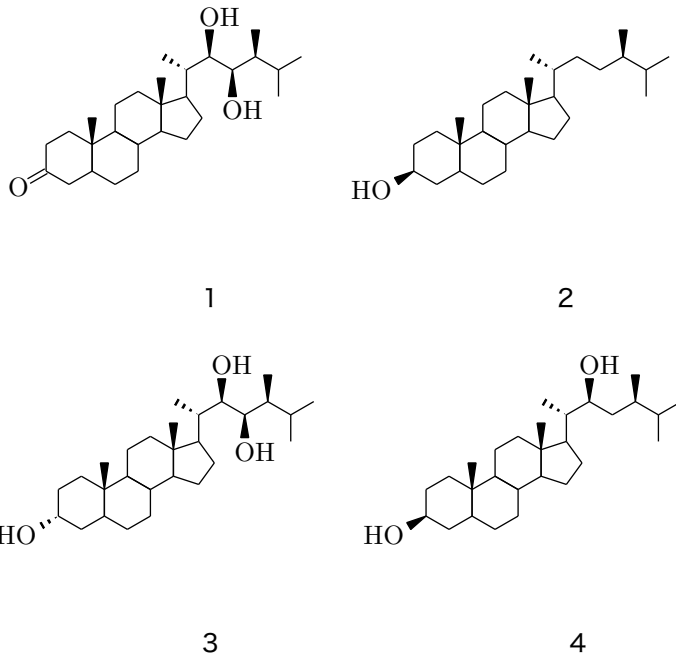


図3-2

